

記入例（障がい）

第1号様式（第3条関係）

成年後見制度における市長審判請求要請書				
				令和5年 1月xx日
(提出先) 平塚市長				
要請者 機関名 <u>相談支援事業所●●</u> 住 所 <u>〒254-xxxx 平塚市●●町 x-xx-xxx</u> 連絡先 <u>0463 (xx) xxxx</u> 代表者 <u>◇◇ ◇◇</u> 担当者 <u>△△ △△</u> 審判請求対象者との関係(相談支援専門員)				
成年後見利用支援センターへの相談状況		相談日：令和5年 1月xx日 相談員 (○○)		
要請根拠		☐ 老人福祉法第32条 ☒ 知的障害者福祉法第28条 ☐ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第51条の11の2		
審判請求対象者の状況	ふりがな	おつやま たろう	生年月日	昭和52年7月7日(45歳)
	氏名	乙山 太郎	性別	☒ 男 ☐ 女
	住 所	〒254-xxxx 平塚市○○ヶ丘 xx-x TEL 0463 (xx) xxxx		
	居 所	〒 - TEL () ☒ 同上		
判断能力に関する状況	判断能力低下の診断等	☐ 有→	程度 (☐ 後見 ☐ 保佐 ☐ 補助) 年 月 日診断 (医療機関：)	
		☒ 無→	要請者の見立て (☒ 後見 ☐ 保佐 ☐ 補助) 相当	
			答えられるもの ☒ 氏名 ☒ 年齢 ☐ 今日の日付 ☐ 現在の時間 ☐ 現在の居場所 ☐ 直近の食事内容	
			できること ☒ 家族と他人の区別 ☐ 簡単な足し算/引き算 ☐ 一人で買い物 ☐ 預貯金の引き出し	
	要介護認定	☐ 未認定 ☐ 非該当 ☐ 要支援(1・2) ☐ 要介護(1・2・3・4・5)		
	認知症診断	☐ 無 ☐ 有 (年 月診断 医療機関：)		
	知的障がい	☐ 無 ☒ 手帳 (☒ A1 ☐ A2 ☐ B1 ☐ B2) ☐ 判定のみ		
	精神障がい	☒ 無 ☐ 手帳 (級) ☐ 自立支援 ☐ 診断書 ☐ 障害年金		
かかりつけ医	名 称	○○ヶ丘クリニック	申立の診断書	☒ 作成可 ☐ 作成不可
	担当医	×× ××	診療科	内科
	連絡先	〒254-xxxx 平塚市○○ヶ丘 xxx-x TEL 0463 (xx) xxxx		
財産の状況	収 入	約97万円/年 (内訳 ☒ 年金 ☐ 生活保護 ☐ 給与等 ☐ その他 ())		
	資 産	775万円 (内訳 ☒ 預貯金 ☐ 不動産 ☐ その他 ())		
	財産管理	☐ 本人 ☒ 本人以外 (母)		
	日常生活自立 支援事業の利用	☒ 無 ☐ 申請中 ☐ 有 (年 月頃から) (☐ 利用援助 ☐ 金銭管理 ☐ 書類預り)		

家族の状況

関係図 (ジェノグラム)	本人
-----------------	---------------------------------------

氏 名	年齢	続柄	交流	申立意向確認	連絡先	備 考
乙山 初子	66	母	有・無	済・未		現在脳梗塞にて入院中
(母の妹の長女)	不詳	いとこ	有・無	済・未		所在等一切不明
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		
			有・無	済・未		

親族が申し立てられない理由	 本人は婚姻歴がなく子もいない。父（乙山一郎）は本人が成人する前に交通事故により他界。本人の生活面の一切を担っていた母（乙山初子）も昨年11月10日に脳梗塞にて〇〇病院に救急搬送後、現在も入院中。話かけても意識がうすく、おぼろげな状態が続いているため、申立ては不可能。また、市長申立要請に関する意向確認も取れない状況。 母方は祖父母も、おば（母の妹）も他界。おばには子（本人のいとこ）がいるが、おば夫婦離婚後、父のもとで育ったこともあって、本人とは全く交流がない。 父方についても、本人の祖父母ともに本人が幼少期に他界。 申立権のある二人のうち、母は申立てできない状況にあり、もう一人のいとも生死を含め、状況が一切不明なため、親族による申立ては困難と思われる。
---------------	--

成年後見人等を必要とする理由

必要とする理由	■財産管理 ■身上監護 □虐待及び権利侵害 □その他（ ） 本人は知的障がいがあり、身のまわりのことや食事などの生活に関するすべてを母が行っていたが、その母が脳梗塞で入院。本人は日常生活能力がなく、食事や掃除など、生活に関わる一般的なことが一人ではできないため、現在、短期入所利用中だが、当該施設は利用可能な期間に限りがある。母の在宅復帰が見込めないため、今後本人には、グループホームや施設への入居・入所が必要と思われるが、契約などの諸手続きや利用料支払いにおいて後見人が必要。

本人の状況

生活歴	(出身地、学歴、職歴、結婚歴等) 本人は平塚生まれ・平塚育ち。婚姻歴はなく、子もない。父は本人が幼少期に交通事故により他界。以後、母と借家で二人で暮らしていた。 〇〇支援学校を卒業後は市内事業所の生活介護を週4回利用。会話はほとんどないが、いつも笑顔で穏やかなため、本人は周囲になじんでいた。また本人が日中自宅で過ごす日には、隣人が本人の様子を見に来てくれることもあった。地域の見守りもあり、特に大きな問題もなく生活していたが、令和4年11月10日に母が入院し、生活が一変。身の回りのことや食事など、本人の生活に関する一切のことを母が行っていたため、一人で生活ができず、現在は短期入所を利用中。
現在の生活状況・身体状況	(日中の過ごし方、同居家族、身体状況、既往歴、日ごろの支援者（キーパーソン）等) 職員に促され、日中はデイルームで他の利用者とともに過ごしている。母のいない生活に慣れてきたようだが、さみしいときは母から贈られた卓上ゲーム機を抱えている。ゲーム機は、ある意味お守りのようで、持っていれば落ち着く様子。 母の入院までは、借家で母と二人で暮らしていた。本人は大きな病気をしたことはなく、〇〇ヶ丘クリニックにアレルギー性鼻炎や風邪をひいた時などに通院している程度で、身体面での問題は特にない。通院や日常の買い物等の外出時は必ず母が付添い、食事や掃除なども母がすべて行っていた。母が生来、「何とかなるでしょ」が口癖の明るい性格だったことや、本人も生活面で落ち着いていることもあり、今までこれといった問題はなかった。だが、母も65歳を超え、そろそろ「親亡き後」の事も考えた方がよいのではないかと、成年後見制度の利用を支援者から勧めるも、母が「まだ私は元気だから、70歳になったら考えてみる」などと言っていた矢先、脳梗塞で入院する事態が発生。本人は一人で生活できないため、現在短期入所中。

生活環境	(住居の状況、本人の部屋(専用の部屋の有無等)の状況等) 寝る時に部屋でひとりで過ごす以外はデイルームで過ごすが、さみしそうにしていることもある。利用当初は環境の変化に慣れないためか、食事が進まなかったが、現在は完食できている。また、職員の介助のもと、何とか入浴もできており、衛生面も確保されている。 現在利用中の短期入所は利用可能な期間に限りがあるため、今後、施設やグループホームに入所・入居が想定される。支援者としては本人に、早く新しい環境に慣れて落ち着いて生活してもらいたい。
------	--

本人の意向・望ましい候補者

本人の意向	(成年後見人等の利用に関する本人の意向を具体的に) 本人は普段から「はい」「いいえ」で答えられることには返答できるが、「何をしたいか」「どう思うか」といった問いかけには答えられない。支援者から本人に制度について説明したが、本人は制度について理解ができているとは考えられず、本人の意向が確認できない。
必要と見込まれる支援	☒財産管理 (☒預貯金等金融機関との取引 ☐不動産手続関係 ☐債務整理 ☐保険契約関係 ☒支払等諸手続 ☐その他 () ☐相続関係 (☐相続承諾・放棄 ☐贈与 ☐遺産分割 ☐その他 () ☐身上監護 (☐介護契約 ☐認定申請 ☐入院等病院手続関係 ☒施設利用手続 ☐その他 () ☐登記・税金・訴訟 (☐登記申請 ☐税金申告・納付 ☐訴訟行為 ☐その他 () ☐その他 ()
望ましい後見候補者	☐弁護士 ☒社会福祉士 ☐司法書士 ☐行政書士 ☐税理士 ☐市民後見人 ☐法人 (☐平塚市社会福祉協議会 ☐NPO成年後見湘南 ☐その他 () ☐その他 () 具体的な人や機関があれば記入 () 上記を選んだ理由 福祉の面に詳しく、障がい者との関わり方を理解していると思われるため、社会福祉士にお願いしたい。

【成年後見調整会議の結果】

担当課記入欄

成年後見調整会議開催日時	月	日	担当者	課
市長申立て	する・しない			
備考				